

# 陽の里

発行 平成16年1月1日



社会福祉法人 新生会  
総合ケアセンター

サンビレッジ

No.85

テーマ

未来志向研究プロジェクト『共生グループホーム』



▲総合ケアセンターサンビレッジ・シニアハウス「ヴィラ・アンキーノ」から見られる日の出

## 未来志向研究プロジェクトの始動

厚生労働省老健局総務課長 山崎 史郎



わが国の高齢者介護をめぐる状況は大きく変わろうとしています。

高齢化がますます進行する中で、痴呆性高齢者の急増に見られるように介護ニーズも大き

く変貌してきており、このため高齢者介護システムについても、時代の推移に即応した改革が求められています。今回スタートした「未来志向研究プロジェクト」は、そうした状況を踏まえ、将来の高齢者介護の姿を念頭に置き、未来へ向けての「掛け橋」になるような調査研究を進めようとする新たなプロジェクトです。

初年度である平成15年度は20件の調査研究が採択されました。その内容は多岐にわたっていますが、岐阜県池田町のプロジェクトとして、社会福祉法人新生会において実施される「痴呆性高齢者グループホーム」と通所介護の連携等に関連する調査研究事業」がその一つとして採択されました。

この調査研究は、今後のグループホームの方向に大きな示唆を与えるとともに、年齢や障害種別を越えた包括ケアのあり方としても大きな意識を持つものですので、皆さま方の現場からの発信に大いに期待を寄せております。

今年はいよいよ介護保険制度の見直し本格化する年です。ますますのご活躍をお祈りしています。

# 新年のご挨拶

社会福祉法人新生会

理事長 石原美智子



石原美智子 理事長

新年あけまして  
おめでとう御座います。

皆様にはお健やかに新しい年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

私たち社会福祉法人「新生会」は、昨年も新しい事

業に挑戦しました。グループホーム「弥生」とデイセンター「ちゃぼぼ」の併設、全国初の木造戸建の有料老人ホーム「ヴィラ・アンキーノ」から成るサンビレッジ宮路です。

少子高齢社会の中、団塊の世代が後十年で高齢者の仲間入りをします。その時、日本は世界一の高齢社会としてどんな国造りが出来ているかと世界中から注目を集めることになるでしょう。

本当に安心して老いることが出来るということは、必ずしもサービスの量で

はありません。当然、それなりの量は必要ですが、そのサービスが劣悪であったらサービスはかえってない方がいいかも知れません。

私たちにとっての本当の安心とは、どんな状態になつても人間の尊厳を失うことなく存在できることだと考えています。私たちは創立以来、自立が損なわれたときに最も重要となる介護の質を追求し続けてきました。その結果は日々の実践の中で確かめていただくことが出来ます。介護の質に自信があればこそ、ヴィラ・アンキーノです。社会福祉法人でありながら公的資金を使わない事業に挑戦するということは、法人の自立を目指すことにもなります。

人手も財源も少なくなつてくるこれからの時代に、如何に公費を無駄なく効率的に使用して効果の高いサービスを構築できるか、今年ソフトを中心にして国の未来志向型プロジェクトに挑戦していきます。

老人だけでなく、若年のハンディを持つ人や地域の人々と共生し、泊まったりと通ったり人々がクロスするあらゆる状況を受け入れることの出来るモデル事業です。機能と質と効率化を高めるためにはどうしたらよいかを模索します。今年も一年、皆さんと共に力を合わせて歩んでいきます。

# 今村勲記念館10年を迎えて

サンビレッジ新生苑 施設長 太田澄子



3階 東サロン

明けましておめでとう  
ございます。本年もよろしく  
お願い申し上げます。  
さて、平成5年に当時の  
施しを受けるという福祉  
的視点では理解しづらい事  
業の為、住民の皆さんの理  
解が得られにくく難産の  
末やつとで創設された自由  
契約制特別養護老人ホー  
ムサンビレッジ(今村勲記念  
館)が、昨年十周年を迎え

ました。

厚生労働省(当時厚生省)  
モデル事業として、高齢社  
会に向け予想される課題  
を検証するために委託され  
ました。

特別養護老人ホームが  
措置から契約へと変わり、  
行政の関与無く直接法人  
と利用者との契約制になっ  
たらどうなるだろうか？  
施設整備に補助金を当てず、  
法人の全額負担、利用料を  
応益負担するとどうなる  
のだろうか？建物を理想の  
個室、小グループケアにす  
ると、利用者の暮らしはど  
うなるのだろうか、  
職員配置はどうだろうか？  
など多くの時代を先取り



3階 ロビー

した検証で  
した。

その役割  
を果たし、  
国としても  
平成12年介

護保険制度をスムーズに導  
入された次第です。又、この  
事業は国だけでなく当法人、  
職員にとりましても大きな  
示唆と方向を示し、社会  
福祉法人の自立と専門性  
の向上を目指したもので  
した。

- ニーズの多様化に応える  
ホームとしての存在感
- 住環境が与える生活上  
の満足感
- 介護の質により決まる  
利用者の安心感
- 契約の自由性がサービ  
ス提供者に与える緊張感  
安定して借入金を返済  
する自立した経営
- 利用者個々の暮らしを  
援助する専門性の向上

● 利用者、家族、地域と共  
に創る理想のホームに  
向けた取り組み

● 利用者にとって人生の継  
続が可能となる自由度  
の高い施設住宅 など

そこでこの度今村勲記念館  
の機能と生活の質をもっと高  
め、新たな時代の息吹を吹き  
込む為に、ホーム内の改修工  
事を行いました。廊下、個室  
はカーペットを敷き、グレート  
もアップし転倒にも配慮でき  
ました。三階の空間は和風に、  
二階は洋風に仕上げ、各ユ  
ットの雰囲気を其々大切にし  
ました。障害が重度になつて  
もホテルのような居心地の良  
い空間で心豊かに過ごしてい  
ただきたいと願っております。



2階 フロアー

## 県知事をお迎えして

シニアハウスヴィラ・アンキーノ利用者

松岡道夫(91才)・千鶴(79才) 御夫婦

当日、大勢の同伴を従えられた知事さんとアンキーノ桜坂のウッドデッキの真ん中でモダンな白塗りのガーデンテーブルを囲んでお話をすることとなりました。かねて夫は、最新治療を受けられて元気になられた知事さんの動静に関心があつて話題にするだろうと心配になりました。これは、的中しました。然し、開口一番、全国知事会会長に就任された事のお祝いを申し上げたので大丈夫だろうと



▲梶原拓知事と松岡ご夫婦

思いました。

宮路にシニアハウスが出来て然も二戸建て、ここ数年入院退院を繰り返している入院大嫌いな夫と、二人だけのこれから先、私が理想の高齢者住宅を神様が作つてくださったとばかりに嬉しく、七月半ば入居致しました。若いスタッフたちの行き届いたお世話やご親切を受け、町内の自宅とも自由に行き来も出来、変化のある生活に夫も元気が出て来て、私にはこの上ない幸せな日々です。

知事と言えば高官で、お目にかかつてお話が出来ると夢にも思つていませんでしたから、介護保険制度の出来る数年前から、新生メデイカルのお世話になつていたので、石原理事長さんも存じ上げていて、現在の幸せに繋がったことなどお話ししたいと思いましたが出来なかつたみたいです。

治療のお話をもっと伺いたそうな夫には悪かつたのですが、つい、病気の話はその位でと言いましたら、お伴の方がドツとお笑いになつたのは覚えております。テレビや新聞

紙上で拜見する知事より親しみが持ていい方だと思えました。太田施設長さんが近づいてくださつたのでホツとしました。

知事さんは「お仲間がどんどん増えるといいですね。お元気で」とおっしゃつて、思いががけなく固い握手をしてくださいました。夫も私も優しいお人柄に、誠実と信頼を加えて尊敬の念を深くしました。益々、ご健康でのご活躍を心より祈つております。

デイサービスセンター ちゃぼぼ利用者

高木馨様 (80才)

梶原知事と初めて会うことが出来て光栄だった。県民の事を考えて県政をやつて下さつていることにとっても感謝致しております。



▲知事を囲んで

今村勲記念館  
改修工事を終えて

今村勲記念館チーフ 馬淵規昭

サンビレッジ新生苑今村勲記念館は、平成5年に契約型特別養護老人ホームとして開設してから今年で10年を迎えます。そこで10月より2ヶ月間リフレッシュ工事をを行いました。

全室温かみのある絨毯を張り、各スペースには空間を確保できる間仕切りを設置しました。それぞれの空間をご利用の方が、ゆつたりと落ち着ける環境で生活していただける工夫をしていきたいと思います。

現在、記念館では小規模の空間単位での生活を目標としてケアをさせていただいています。

今回の工事を機にみなさまにより一層喜んで頂けるサービスの向上を図りたいと思つていきます。